

6

午後

(13時30分～15時30分)

問 題

- ◎ 指示があるまで開かないでください。

注 意 事 項

1. 午後の試験問題の数は77問で、解答時間は正味2時間00分です。
2. 受験番号等の解答用紙への記入方法

はじめに、解答用紙に鉛筆又はシャープペンシルを使用して、左の欄に氏名を記入してください。次に、右の欄に受験票に記載されている受験番号を記入し、受験番号を塗りつぶしてください。

(例)受験番号 1A-9999の場合

氏 名	心理 花子			受験 番号	1	A	-	9	9	9	9
	●	●			①	①	①	①			
				②	②	②	②	②	②	②	②
				③	③	③	③	③	③	③	③
				④	④	④	④	④	④	④	④
				⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
				⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
				⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
				⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
				●	●	●	●	●	●	●	●

3. 解答方法

- (1) 各問題には①から④までの4つの選択肢又は①から⑤までの5つの選択肢があります。問題に対応した選択肢を[例1]及び[例2]では1つ、[例3]では2つを選び、解答用紙に記入してください。
- (2) [例1]及び[例2]の問題に2つ以上解答した場合は、誤りになります。
[例3]の問題に1つ又は3つ以上解答した場合は、誤りになります。

[例1] 次のうち海に面していない県について、正しいものを1つ選べ。

- ① 青森県
- ② 岐阜県
- ③ 兵庫県
- ④ 宮崎県

正解は②であるから解答用紙の②をマークすればよい。

1	①	②	③	④
		↓		
1	①	●	③	④

[例 2] 我が国における現在の元号として、正しいものを1つ選べ。

- ① 寛永
- ② 元禄
- ③ 昭和
- ④ 大化
- ⑤ 令和

正解は⑤であるから解答用紙の⑤をマークすればよい。

2	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

↓

2	①	②	③	④	●
---	---	---	---	---	---

[例 3] 次のうち県庁所在地となっている都市名について、正しいものを2つ選べ。

- ① 川崎市
- ② 倉敷市
- ③ 仙台市
- ④ 高松市
- ⑤ 北九州市

正解は③と④であるから解答用紙の③と④をマークすればよい。

3	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

↓

3	①	②	●	●	⑤
---	---	---	---	---	---

(3) 解答は全てマークシート形式です。採点は、光学式文字読取装置によって行います。解答用紙への記入は HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。ボールペンは使用できません。また、例のように○をはみ出さないように、濃く塗りつぶしてください。

良い例 … ●

悪い例 … ●~~○~~~~◎~~~~⊙~~~~⦿~~ (←読取りができないため、解答になりません。)

- 4. 一度解答した問題を訂正する場合は、プラスチック消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残っていたり、上から二重線などで消した場合は、訂正したことにはなりませんので注意してください。
- 5. 解答は、時間内に解答用紙に記入してください。試験時間終了後に記入した場合は、無効となります。また、問題冊子に直接記入しても採点されません。

◎ 指示があるまで開かないでください。

問78 J. Bowlby の提唱する、モーニングの第一期の心理状態に該当するものを1つ選べ。

- ① 混乱
- ② 思慕
- ③ 絶望
- ④ 探索
- ⑤ 無感覚

問79 十分な説明を受けた上でのクライアントの自発的な合意として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① プライバシー
- ② デイセプション
- ③ デブリーフィング
- ④ セカンド・オピニオン
- ⑤ インフォームド・コンセント

問80 バランス理論に最も関係が深い人物として、正しいものを1つ選べ。

- ① A. Binet
- ② F. Heider
- ③ G. Le Bon
- ④ J. B. Watson
- ⑤ S. E. Asch

問81 調査において、代理回答や記入ミスが起こりにくい実施方法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 電話調査
- ② 留置調査
- ③ 面接調査
- ④ 郵送調査
- ⑤ ウェブ調査

問82 データ分布の特徴を表す指標のうち、外れ値の影響を受けにくいものとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 範囲
- ② 分散
- ③ 中央値
- ④ 平均値
- ⑤ 標準偏差

問83 相関関係を求める2つの変数それぞれから、共通の第3の変数の影響を除いて求められる相関係数として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 重相関係数
- ② 偏相関係数
- ③ 自己相関係数
- ④ 正準相関係数
- ⑤ 部分相関係数

問84 自伝的記憶に関する説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 自己に関する意味記憶は含まれない。
- ② 自己にとっての未来展望も含まれる。
- ③ 想起時期に近い時期ほど想起数が多い新近効果はみられない。
- ④ 生後3年間のエピソード記憶がほぼ欠落している幼児期健忘がみられる。
- ⑤ 高齢者においては、中年期の記憶が想起されやすいレミニセンスバンクがみられる。

問85 学習における消去について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 消去によって一度消失した反応は、自発的には回復しない。
- ② 毎回ではなく間欠的に強化された反応のほうが消去されにくい。
- ③ 消去が開始された直後から、反応は一定のペースで減少していく。
- ④ レスポンデント条件づけでは、条件刺激の除去によって反応の消去が生じる。
- ⑤ 条件づけによる反応の形成後、強化子を提示することによって反応の消去が生じる。

問86 文や文章の認知処理におけるスキーマの活性化に関連する用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 韻律情報
- ② 共同注意
- ③ 照応解決
- ④ 心的辞書
- ⑤ 物語文法

問87 個人特有の認知的な枠組みに従い、環境の解釈と事象の予測を行い、自らの行動や環境を統制すると仮定している理論として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 相互決定論
- ② 暗黙の人格理論
- ③ 社会的情報処理理論
- ④ 心理学的発達段階理論
- ⑤ パーソナル・コンストラクト理論

問88 ベンゾジアゼピン系抗不安薬が結合する受容体として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① アドレナリン受容体
- ② グルタミン酸受容体
- ③ アセチルコリン受容体
- ④ μ -オピオイド(MOP)受容体
- ⑤ γ -アミノ酪酸(GABA)受容体

問89 高次脳機能障害診断基準(平成16年、厚生労働省及び国立障害者リハビリテーションセンター)に基づく高次脳機能障害の原因として、適切なものを1つ選べ。

- ① 脳性麻痺
- ② 発達障害
- ③ 進行性疾患
- ④ 先天性疾患
- ⑤ 脳血管障害

問90 影響源の強度、影響源との近接性及び影響源の数という3要素が、個人の遂行行動に与える影響を説明する理論として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① アージ理論
- ② 制御焦点理論
- ③ 社会的浸透理論
- ④ 社会的インパクト理論
- ⑤ 心理的リアクタンス理論

問91 「男性はたくましく、女性はやさしい」という固定観念を説明する概念として、適切なものを1つ選べ。

- ① ジェンダー・ギャップ
- ② セクシャル・マイノリティ
- ③ ジェンダー・ステレオタイプ
- ④ ジェンダー・アイデンティティ
- ⑤ セクシャル・オリエンテーション

問92 B. F. Skinner の行動理論に基づく介入で、ポイントを貯めることで行動を強化する技法として、適切なものを1つ選べ。

- ① 三項随伴性
- ② チェイニング
- ③ フェイディング
- ④ レスポンスコスト
- ⑤ トークンエコノミー

問93 特別支援教育に関する説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 通級による指導は、高等学校では行わない。
- ② 特別支援学校などの特別な教育機関で取り組まれるものである。
- ③ 就学先として特別支援学校を選択した場合は、高等部まで持続する。
- ④ 通級による指導は、毎日2時間から4時間、通級指導教室で特別な指導を行うものである。
- ⑤ 特別支援学校、特別支援学級及び通級による指導では、個別の指導計画を作成しなければならない。

問94 WISC-IVについて、適切なものを1つ選べ。

- ① 対象年齢は、5歳から20歳である。
- ② PSIの基本検査は、符号及び絵の抹消である。
- ③ WMIの基本検査は、数唱及び語音整列である。
- ④ FSIQは、言語性IQと動作性IQに分けられる。
- ⑤ IQと指標得点は、標準偏差30に設定されている。

問95 主に高齢者を対象に認知機能の評価を行う心理検査として、適切なものを1つ選べ。

- ① ADOS-2
- ② BDI-II
- ③ HDS-R
- ④ LSAS-J
- ⑤ NEO-FFI

問96 家族療法において、逸脱を増幅する正のフィードバックと、安定性を維持する負のフィードバックにより情報が伝達され、家族システムが制御されることを表す用語として、正しいものを1つ選べ。

- ① 自己分化
- ② 二重拘束
- ③ 円環的因果律
- ④ サイバネティクス
- ⑤ 家族ホメオスタシス

問97 地域支援における課題中心の間接的支援を表す用語として、適切なものを1つ選べ。

- ① 危機介入
- ② ジョイニング
- ③ エンパワメント
- ④ リフレーミング
- ⑤ コンサルテーション

問98 心理相談の事例研究における個人情報の記載について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 氏名はイニシャルで記載する。
- ② 地名は都道府県名を記載する。
- ③ 職業は一般的な名称を記載する。
- ④ 相談開始時の日付は実際の年を記載する。
- ⑤ 相談が行われた機関は実際の名称を記載する。

問99 日常生活上の遂行機能を評価する心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① BADS
- ② EQ-5D
- ③ IES-R
- ④ K6
- ⑤ SDS

問100 受け入れ難い感情や願望を意識しないで済むよう、逆の態度や行動をとる防衛機制として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 退行
- ② 否認
- ③ 分裂
- ④ 反動形成
- ⑤ 投影同一化

問101 不眠を訴える患者に対し、寢床を睡眠以外に使わないように指導する方法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 刺激制御法
- ② 睡眠制限法
- ③ 認知再構成法
- ④ リラクゼーション法
- ⑤ セルフ・モニタリング法

問102 10歳の子どもに対して、虐待によるトラウマの影響をアセスメントする際に用いる心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① A-DES
- ② KABC-II
- ③ M-CHAT
- ④ PARS-TR
- ⑤ TSCC

問103 子どもが里親や児童福祉施設などに措置される際、その前後に児童福祉司と、里親や施設職員が連携しながら、子どもへの特別の配慮を行うことが求められる。このような支援を表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① イン・ケア
- ② アドボカシー
- ③ 新エンゼルプラン
- ④ アドミッション・ケア
- ⑤ パーソンセンタード・ケア

問104 成年後見人の職務として、正しいものを1つ選べ。

- ① 養子縁組
- ② 手術の同意
- ③ 遺言の作成
- ④ 介護保険の申請手続
- ⑤ 日用品の購入取消し

問105 新しい知識を学ぶ際に、学習者が既に持っている認知構造に結びつけることで効果的に学習する方法として、適切なものを1つ選べ。

- ① 問答法
- ② 個別学習
- ③ 発見学習
- ④ プログラム学習
- ⑤ 有意味受容学習

問106 学習指導の途中で、学習者がどの程度学習内容を理解したかを確認するための評価法として、適切なものを1つ選べ。

- ① 形成的評価
- ② 個人内評価
- ③ 診断的評価
- ④ 絶対的評価
- ⑤ 総括的評価

問107 常時 50 人以上の労働者を使用する事業場で選任される者で、労働安全衛生法が定める、作業条件、作業環境の衛生上の改善や疾病の予防処置などの管理を担当する者として、正しいものを1つ選べ。

- ① 衛生管理者
- ② 衛生推進者
- ③ 作業主任者
- ④ 産業看護職
- ⑤ 労働衛生コンサルタント

問108 酸素含有量が最も少ない血液が流れる血管に該当するものを1つ
選べ。

- ① 冠動脈
- ② 肝動脈
- ③ 大動脈
- ④ 肺静脈
- ⑤ 肺動脈

問109 機能性消化管疾患として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① クロウン病
- ② 大腸憩室炎
- ③ 潰瘍性大腸炎
- ④ 大腸ポリープ
- ⑤ 過敏性腸症候群

問110 DSM-5 のパーソナリティ障害のうち、賛美されたい欲求の広範な様式を示すものとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 依存性パーソナリティ障害
- ② 演技性パーソナリティ障害
- ③ 境界性パーソナリティ障害
- ④ 自己愛性パーソナリティ障害
- ⑤ 反社会性パーソナリティ障害

問111 うつ病の症状として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 思考途絶
- ② 微小妄想
- ③ させられ体験
- ④ 物盗られ妄想
- ⑤ 睡眠欲求の減少

問112 薬物の代謝と腸管への排出に関わる臓器として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 肝臓
- ② 心臓
- ③ 腎臓
- ④ 膵臓
- ⑤ 脾臓

問113 2018年(平成30年)に改正された健康増進法で、国及び地方公共団体の責務として、新たに規定されたものを1つ選べ。

- ① 自殺予防
- ② 受動喫煙防止
- ③ 地域保健対策
- ④ 特定健康診査
- ⑤ ストレスチェック制度

問114 児童相談所における相談援助活動に関連する内容として、適切なものを1つ選べ。

- ① 一時保護は、一時保護所のみで行われる。
- ② 児童福祉審議会は、児童相談所の人材育成のための研修を実施する。
- ③ 措置制度では、利用者がサービス提供者と対等な立場に立って契約を結ぶ。
- ④ 援助方針会議は、子どもや保護者等に対する最も効果的な援助指針を作成、確認する。
- ⑤ 社会診断は、日常生活に近い条件の下で、子どもに対する24時間の直接観察に基づいて行われる。

問115 裁判員裁判について、正しいものを1つ選べ。

- ① 評議は公開で行われる。
- ② 民事事件及び刑事事件に適用される。
- ③ 量刑は、構成裁判官の専権事項である。
- ④ 被告人の有罪・無罪は、全員一致で決しなければならない。
- ⑤ 裁判員は証人に対し、判断に必要な事項について質問することができる。

問116 スーパービジョンにおけるスーパーバイザーの行動として、不適切なものを1つ選べ。

- ① スーパーバイザーと作業する上での同盟関係を結ぶ。
- ② スーパーバイザーの自己内省を高められるよう促す。
- ③ スーパーバイザーの発達段階によって方法を変える。
- ④ スーパーバイザーと対等な役割関係の下で支援を行う。
- ⑤ 理論的な概念や知識から具体的事例への橋渡しをする。

問117 TEGの自我状態と関係がある特徴の説明として、不適切なものを1つ選べ

- ① Aは、物事を客観的に理解するという特徴と関係がある。
- ② ACは、感情表出を抑えるという特徴と関係がある。
- ③ CPは、自分の価値判断が正しいものとして譲らないという特徴と関係がある。
- ④ FCは、責任感が強いという特徴と関係がある。
- ⑤ NPは、親身になって世話をするという特徴と関係がある。

問118 外来森田療法を行うセラピストの対応として、不適切なものを1つ選べ。

- ① クライエントの不安の裏にある欲望への気づきを促す。
- ② クライエントに実行可能な行動を起こすことを推奨する。
- ③ クライエントが陥っている悪循環を断ち切るために話し合う。
- ④ クライエントに不快な心身の症状が軽減するスキルを伝える。
- ⑤ クライエントが日記に記載した内容についてコメントを伝える。

問119 「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(平成23年、中央教育審議会)の「社会的・職業的自立、学校から社会・職業への円滑な移行に必要な力」に示されている「基礎的・汎用的能力」に含まれないものを1つ選べ。

- ① 課題対応能力
- ② 連携・協働能力
- ③ 自己理解・自己管理能力
- ④ キャリアプランニング能力
- ⑤ 人間関係形成・社会形成能力

問120 D. A. Andrews と J. Bonta が提唱した、犯罪リスク・ニーズ要因のセントラルエイトに含まれないものを1つ選べ。

- ① 家族・夫婦
- ② 個人的苦悩
- ③ 犯罪指向的交友
- ④ レジャー・レクリエーション
- ⑤ 反社会的パーソナリティ・パターン

問121 メタボリックシンドロームを構成する病態に含まれないものを1つ選べ。

- ① 血圧上昇
- ② 脂質異常
- ③ 内臓肥満
- ④ 電解質異常
- ⑤ 糖代謝異常

問122 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律

〈障害者虐待防止法〉の内容として、誤っているものを1つ選べ。

- ① この法律における養護者とは、障害者福祉施設従事者である。
- ② この法律における障害者とは、障害者基本法に規定する障害者である。
- ③ 障害者福祉施設従事者等は、障害者虐待の早期発見に努めなければならない。
- ④ 市町村は、養護者から虐待を受けた障害者を保護するために、必要な居室を確保する。
- ⑤ 養介護事業に係るサービスの提供を受ける65歳未満の養介護施設入所中の障害者は、高齢者とみなして、高齢者虐待に関する規定が適用される。

問123 学校保健安全法の内容に該当しないものを1つ選べ。

- ① 学校に養護教諭を置かなければならない。
- ② 毎学年定期的に、学校の職員の健康診断を行わなければならない。
- ③ 翌学年の初めから就学する者に、就学に際し、健康診断を行わなければならない。
- ④ 感染症の予防上必要があるときは、臨時に、学校の全部又は一部の休業を行うことができる。
- ⑤ 校長は、感染症にかかっている又はかかるおそれのある児童生徒等の出席を停止させることができる。

問124 DSM-5における注意欠如多動症／注意欠如多動性障害〈AD/HD〉の説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 多動性の症状は、青年期に最も強くなる。
- ② AD/HDの症状は、幼児期までに明らかになる。
- ③ 症状は、学校場面では、教師に対する反抗的態度、挑戦、敵意として表れる。
- ④ 幼児期早期の正常範囲の運動活動性は、AD/HDの症状との鑑別が困難である。

問125 2022年(令和4年)時点における障害者の雇用について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 法定雇用率は、10年ごとに見直される。
- ② 障害者雇用の対象障害種は、身体障害と知的障害の2つである。
- ③ 障害者雇用率の算定の対象者は、障害者手帳保持者に限らない。
- ④ 法定雇用率は、特殊法人、国及び地方公共団体の方が一般の民間企業よりも高い。

問126 子どもの心理療法を行う際の対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 親子の相互作用の問題については、積極的な質問や助言は控える。
- ② 親が心理療法についての疑問を表明する場合、それを抵抗と捉え転移の解釈を行う。
- ③ 子どもに関する情報を得ることに徹し、親自身が抱えている問題は話題として避ける。
- ④ 初回に親と子どもが同時に来談した場合は、親と子の同席の場面で、支援を求める理由を共有する。

問127 心理療法の効果研究におけるランダム化比較試験の説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 交絡を防ぐ。
- ② アウトカムは設定しない。
- ③ 対照群には介入を実施しない。
- ④ 群への割り付けの際、参加者の意向を尊重する。

問128 学校文化について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① ソシオメトリック・テストを用いて把握される集団構造のことである。
- ② 学校の構成員によって共有され、伝達される行動様式や生活の様式のことである。
- ③ 児童生徒間における校内の地位や序列関係などの集団内の人間関係のことである。
- ④ 児童生徒の認知的・人格的発達を目標とし、教師－生徒間の活発な相互作用を含む活動のことである。

問129 学校心理学における心理教育的援助サービスの一次的援助として、適切なものを1つ選べ。

- ① いじめ加害者への対応
- ② 入学前のオリエンテーション
- ③ 不登校児童生徒への家庭訪問
- ④ 学習意欲が低下した児童生徒への支援

問130 公認心理師法に規定されている内容として、適切なものを2つ選べ。

- ① 被保佐人に該当する者は公認心理師となることができない。
- ② 公認心理師としての職務から離れた場合に守秘義務は免除される。
- ③ 公認心理師でない者は、その名称中に心理師という文字を用いてはならない。
- ④ 公認心理師としての登録は、公認心理師試験に合格すれば自動的に行われる。
- ⑤ 資質向上の責務は、国民の心の健康を取り巻く環境の変化による業務の内容の変化に適応するためである。

問131 認知症初期集中支援チームの活動について、適切なものを2つ選べ。

- ① 入院中も支援の対象となる。
- ② 家族に対する支援も行われる。
- ③ 認知症の診断が支援の条件である。
- ④ 訪問支援対象者に年齢制限はない。
- ⑤ 介護保険サービスを受けることへの支援が含まれる。

問132 組織内のハラスメント相談室で行われる相談者との初回面接における聞き取りについて、適切なものを2つ選べ。

- ① 具体的な事実を聞き取る。
- ② 具体的な対応策の検討は控える。
- ③ 相談者の訴えを疑う姿勢を基本とする。
- ④ 精神医学的問題のアセスメントは避ける。
- ⑤ 組織の対応に関する相談者の意向を確認する。

問133 地域ケア会議について、適切なものを2つ選べ。

- ① 政策の立案や提言はしない。
- ② 会議のメンバーは固定しない。
- ③ 個別のケースは取り扱わない。
- ④ 地域包括支援ネットワークを構築する。
- ⑤ インフォーマルサービスの開発は対象外である。

問134 学校における危機管理・緊急支援について、適切なものを2つ選べ。

- ① 事前の危機管理が必要である。
- ② マスコミ対応は、複数窓口とする。
- ③ 緊急支援の役割は、管理職に集約させる。
- ④ 教育委員会など、地域の関係機関と連携する。
- ⑤ 通学途中や学校外での事故や犯罪被害は、学校危機に該当しない。

問135 保護観察において、対象者に対して指導や支援を行う際、保護司が担う役割として、適切なものを2つ選べ。

- ① 保護観察の実施計画を策定する。
- ② 専門的処遇プログラムを実施する。
- ③ 就労援助のため、就労先に関する情報提供を行う。
- ④ 日常的な面接により、生活上の助言や指導を行う。
- ⑤ 遵守事項違反に対する措置を検討し、必要に応じて手続をとる。

問136 ある大学において、オンライン授業の評価について検討するために、学生に質問紙調査を行うことにした。1つの質問紙の中で、対面形態と非対面形態での授業について、望ましさに関する評価の回答をそれぞれ得た。また、大学までの通学時間の影響をみるために、通学時間が長い学生と短い学生の2群に分けて、授業評価を検討することにした。

このような検討を行うときの要因計画として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 2 要因混合計画
- ② 1 要因 4 水準計画
- ③ 参加者間 1 要因計画
- ④ 参加者間 2 要因計画
- ⑤ 参加者内 2 要因計画

問137 20歳の女性A、大学生。アルバイトをしている。Aはアルバイト先の店長Bが特定の従業員Cをひいきして手伝ったことについて、その原因を判断しようとしている。その際、BがCではない他の従業員の手伝いをしているかどうか、BはいつもCを手伝っているかどうか、他の従業員もCを手伝っているかどうか、という3種類の情報に基づいてBの行動の原因を判断しようとした。

Aが依拠している原因帰属のモデルとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 連続体モデル
- ② 3段階モデル
- ③ 感情混入モデル
- ④ 分散分析モデル
- ⑤ 自己評価維持モデル

問138 47歳の女性A、病院看護師。半年ほど前からめまいや強い疲労感を覚えるようになり、出勤できない日が増えてきている。Aは、就職して以来、看護師として高い誇りと生きがいを持ち、真摯に仕事に取り組んできた。患者や同僚からの評判もよく、5年前からは看護師長として責任ある立場を任せられてきた。最近、新興感染症の拡大により極めて多忙な日々が長く続く中、このまま仕事を続けていくことに不安を覚え、生活全般に張り合いが感じられなくなっている。

中年期危機という視点から、Aの状態を理解する上で、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 離脱理論
- ② エイジズム
- ③ 空の巣症候群
- ④ バーンアウト
- ⑤ 職業的早期完了

問139 18歳の男性A、医療系大学の1年生。Aは、血を見ると目の前が真っ暗になり倒れそうな感覚になるため、2年次から始まる手術見学などの実習が耐えられないのではないかと不安を抱き、学生相談室に来室した。血液感染を恐れるというよりは、血や怪我を目にすることが苦手だという。今まではそのような場면을回避してきたが、今回の実習は必修科目であるため避けられそうになく困っている。アセスメントとして実施した心理検査の結果は、Y-BOCSが基準以下の重症度で、MASが基準以上の重症度であった。

DSM-5に基づくAの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 統合失調症
- ② 限局性恐怖症
- ③ 強迫症／強迫性障害
- ④ パニック症／パニック障害
- ⑤ 社交不安症／社交不安障害(社交恐怖)

問140 28歳の女性A。不眠のため精神科クリニックを受診した。現在勤務している飲食店には、半年前に転職したばかりである。職場に慣れてきた3か月前に、仕事が遅いとひどく叱責された。そのため、職場に早く出勤したところ、時間外の仕込みなどは禁止されていると再び注意された。この頃から、職場で動悸や頭痛を感じるようになり、仕事のミスが増えた。対応した公認心理師にAは、ストレスや気分の落ち込みを訴える一方で、「休日はSNSで知り合った男性と遊びに行く。また、以前にも同じようなことがあったが、退職した後、体調は速やかに回復した」と言う。

DSM-5に基づくAの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 適応障害
- ② 急性ストレス障害
- ③ 脱抑制型対人交流障害
- ④ 心的外傷後ストレス障害
- ⑤ 反応性アタッチメント障害

問141 50歳の男性A、会社員。産業医の紹介で精神科クリニックを受診した。Aは、1年前に会社の組織変更に伴い、入社以来従事してきた開発職から営業職に異動となった。当初、新たな職場で戸惑いもあったが、意欲的に業務に取り組んでいた。しかし、営業成績が上がらず、しばしば夜遅くまで残業するようになった。半年前頃から不眠や食思不振を認めるようになり、次第に仕事の遅れが目立ってきた。気力低下が続き、1か月前から欠勤も増えている。問診票には、「こんな私のために皆さまのお時間をとってしまい、申し訳ない」と記載されていた。

Aの病態評価のために行う心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① CAPS
- ② HAM-D
- ③ PDSS
- ④ YMRS
- ⑤ Y-BOCS

問142 30歳の女性A。出産した産婦人科クリニックで産婦検診を受診した。Aは、「第一子Bを出産して1か月が過ぎたが、夜中に授乳やおむつ交換で何度も起こされ、あまり眠れない日が多い。産後2週目頃から母乳が徐々に出にくくなり、粉ミルクを併用している。このことで、自分にBを育てる資格があるのだろうか、と不意に不安になることがある。Bが泣き止まないときは大変で、腹が立ち、Bの世話は楽しくないと思うこともある。夫は育児休業を取得しているが、Bの面倒を見ようとしなない。Aの実家は自宅から遠く、援助は期待しにくい」と言う。

産後ケアにおけるAへの対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 母乳育児の有用性を説明する。
- ② 積極的に子育てに取り組むよう励ます。
- ③ 子育て世代包括支援センターなどと連携する。
- ④ 母子の愛着形成の重要性についての理解を促す。
- ⑤ Aの夫と連絡を取り、Bの世話をするよう要請する。

問143 3歳の男児A。3歳児健診の際、母親Bから希望があり公認心理師Cが個別相談を実施した。Bによると、Aは小さい頃から視線の合いにくさや感覚の過敏さがみられた。また、言葉の発達を含め、コミュニケーションの困難さもみられた。Cは、Bの話やAの行動観察の結果を踏まえ、Aには定期的な療育支援の継続が必要であると考えた。

このとき考えられる、療育支援を担当する機関又はサービスとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 児童発達支援事業所
- ② 地域子育て支援拠点
- ③ フォスタリング機関
- ④ 放課後等デイサービス
- ⑤ ファミリー・サポート・センター

問144 82歳の女性A。Aの娘Bと二人暮らしである。Aは、Lewy小体型認知症で、2年前から認知症疾患医療センターに通院している。Aは、長年一人暮らしであったが、半年前からBが同居を始めた。最近、BはAに、「物忘れするのは認知症ではなく、ただ怠けているだけだ」とAを責めるようになった。前回の診察でAが足を引きずって歩く様子がみられたが、Bによると転んだということであった。しかし、Aは、「Bに蹴られた、ときどき殴られる」と言うが、Bは認めようとしな

い。

今後、認知症疾患医療センターが優先的にとるべき対応として、適切なものを1つ選べ。

- ① Bの心理的支援を行う。
- ② 市町村の虐待対応担当課に通報する。
- ③ シェルターなどを利用し、Aの分離保護を行う。
- ④ 市町村の担当者の協力を得て、共同で立ち入り調査を行う。
- ⑤ 認知症疾患医療センターの虐待対応チームで虐待の事実認定を行う。

問145 15歳の男子A、中学3年生。Aは、学校の廊下で面識のない生徒Bと肩がぶつかった。AはBに、「わざとぶつかったらろう」と文句を言い、BはわざとではないとAに謝ったが、Aは信じられず、Bの顔を殴った。Aは、約2か月前にも、他の中学校の見知らぬ生徒Cと道ですれ違った際ににらまれたと突然激高し、暴言を吐いたことがあった。Cは事後、担任教師にAと目が合ったかどうか分からないと話している。

AのBとCに対する暴行や暴言に関わる、Aの認知バイアスとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 後知恵バイアス
- ② 正常性バイアス
- ③ 現状維持バイアス
- ④ 自己奉仕バイアス
- ⑤ 敵意帰属バイアス

問146 24歳の男性A、総合商社の会社員。Aは、大学でフランス語を専攻し、卒業後、新卒採用で入社して3年目である。採用面接では、面接担当者に語学力と留学経験を高く評価されたことから、入社後は数年のうちに海外に派遣され即戦力として活躍できるキャリアパスをイメージしていた。ところが、事業整理によって、勤務先企業が欧州拠点を撤退したことを知り、現職で希望をかなえることができないという現実直面している。「書類整理の手伝いくらいしか語学力を活かす機会がなく、こんなはずではなかった」と悩んでいる。

Aの悩みを表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① カタルシス
- ② モラトリアム
- ③ キャリア・プラトール
- ④ リアリティ・ショック
- ⑤ セルフ・ハンディキャッピング

問147 中堅製造業、A社。創業当初から、従業員への給与や福利厚生を重視した経営を続けている。近年では、時間外労働対策や女性活躍推進、ハラスメント対策などに注力し、一定の成果を得ている。メンタルヘルス対策にも取り組んでおり、社内での相談体制や職場復帰支援に関する制度などを整備してきた。今回、メンタルヘルス対策の一環として、健康経営の観点を取り入れた対策を強化する計画が検討された。この計画では、従業員が仕事に没頭でき、やりがいや誇りを感じられ、仕事から活力を得られる職場づくりが目標として掲げられた。

A社がこの目標の達成度を評価する観点として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① ポジティブ・アクションの推進
- ② ワーク・エンゲイジメントの向上
- ③ ワーク・ライフ・バランスの実現
- ④ メンタルヘルス不調による休職率の低下
- ⑤ メンタルヘルス不調による休職者の復職率の向上

問148 20歳の男性A、大学2年生。Aは、最近授業を欠席することが多くなり、Aの担任教員の紹介で、学生相談室の公認心理師のもとを訪れた。Aはもともと人付き合いが苦手で、これまでクラスの友人ともあまり馴染めず過ごしてきた。大学1年生のときはオンライン授業がメインであったが、大学2年生になってから対面授業になると、ゼミの発表で失敗してしまい、それから授業に出るのが苦痛になった。授業のことを考えるだけで、息苦しくなり、不安になる。

Aに対して行う認知行動療法に基づいた支援として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 行動実験
- ② 心理教育
- ③ 安全行動の維持・促進
- ④ ビデオ・フィードバック
- ⑤ 注意シフト・トレーニング

問149 1歳4か月の女児A、保育園児。母子家庭で育つ。隣人から児童相談所に、毎日Aの泣き声がすると通告があった。児童相談所の担当者がA宅を訪問すると、母親Bが玄関で対応した。訪問理由を説明し、Aとの面会を依頼すると、BはAを抱いて出てきた。AはBに甘えており、外傷は確認されなかったが、体格が小さかった。Bは、「Aは離乳食を嫌うのです。他の子に比べて、体が小さくて。いらいらして怒鳴るとAが泣くことはあるけれど、今後は気をつけます」と扉を閉めた。後日、要保護児童対策地域協議会で個別ケース検討が行われた。

関係機関が行うAとBへの初期支援として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 児童委員が、Bの相談に乗りながら、子育ての苦労を聴き取る。
- ② 保育所で、Aの行動観察を行い、Aの心身の発達をモニターする。
- ③ 児童相談所が警察に協力を依頼し、立入調査を行って、Aの状態を確認する。
- ④ 小児科医が、Aの身体測定を定期的実施し、発育不良のアセスメントを行う。
- ⑤ 保健センターで、保健師が乳幼児健診の機会を活用して、必要な市町村サービスを紹介する。

問150 13歳の男子A、中学1年生。Aは、中学校入学直後は特に体調に問題はみられなかったが、5月中旬頃からしばしば頭痛や腹痛を担任教師に訴えるようになった。遅刻が増え、帰宅後も頭痛や腹痛を保護者に訴えている。6月になった現在、連続して学校を欠席している。Aは、成績は中程度であり、担任教師との関係は良好である。友人関係のトラブルも現時点では確認されていない。これまでのところ、医療機関や相談機関は利用されていない。

この段階での学校の対応として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 医療機関の受診の提案
- ② 校内での支援会議の開催
- ③ 担任教師による家庭訪問
- ④ 個別の教育支援計画の作成
- ⑤ 児童生徒理解・支援シートの作成

問151 45歳の女性A、介護職員。腰痛と足のしびれのため、総合病院の整形外科に通院している。Aは、2年前に腰椎椎間板ヘルニアと診断された。それ以来、鎮痛剤の処方や理学療法、神経ブロックなどを受けている。MRI検査でヘルニアの所見は、半年前から認められていないが、痛みなどは改善していない。そのため、担当医から院内の公認心理師Bに心理面接が依頼された。AはBとの面接に訪れ、「痛みของことが頭から離れず、自分ではどうしようもない。症状は酷くなる一方で、ヘルニアが治るとは思えない」と述べた。最近は、夜眠れないことが多く、介護の仕事を休むことも増えている。

Aの認知面の特徴として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 破局的思考
- ② 自己関連づけ
- ③ 感情的理由づけ
- ④ 正常性バイアス

問152 17歳の男子A、高校3年生。Aは、担任教師Bに勧められ、スクールカウンセラーCの相談室に来室の予定である。Bによると、Aの保護者は教育熱心で、Aは、入学時より成績は上位で、保護者が勧める難関大学への進学を希望していた。しかし、高校3年生になると、成績が低下してきた。Aは、「勉強は嫌いではないが、勉強する意味が分からない。進学せずにアルバイトをして一人暮らしをしたいと思っている。親に強く反対され、どうしようか迷っている」と語っているという。

Cの初回の対応方針として、適切なものを1つ選べ。

- ① 保護者に同席してもらって話し合う。
- ② A自身の現状を検討する力を把握する。
- ③ 精神科クリニックを受診するように勧める。
- ④ 当初の希望通りの大学に進学するように説得する。

問153 67歳の女性A、無職。半年前に夫を亡くし、現在、娘と二人暮らしである。数か月前から、同じことを何度も尋ねたり、日付を間違えたりすることが増えた。また、日課にしていた散歩に出かけなくなった。心配した娘に連れられて医療機関を受診し、担当医Bの診察を受けた。診察では、「最近物忘れが多く、何をするにもおっくうだ」と話した。Bによると、失語、失認及び失行を疑わせる症状はなく、神経学的症状もなかった。MMSEは25点、HDS-Rは26点であった。Aの詳しい病態把握が必要と判断したBは、公認心理師Cに心理検査バッテリーについて相談した。

このときCが提案すべき心理検査として、適切なものを2つ選べ。

- ① GDS
- ② MMPI
- ③ SLTA
- ④ STAI
- ⑤ WMS-R

問154 35歳の男性A。Aは、14歳のときに強制わいせつ事件を起こして以来、性犯罪の事件で3度逮捕されたほか、暴行罪で検挙されたことがあり、これまで2回服役している。Aは、社会復帰してから再び事件を起こさないよう自制した生活を送っていたが、自宅で飲酒をしているうちに、気持ちがいらだって外出し、電車の中で痴漢行為をした。逮捕されたAは、「ちょっと触ったのは事実だが、被害は与えていない」と否認していた。

Aの更生に向けた働きかけの方法を特定するために必要な動的风险要因として、適切なものを2つ選べ。

- ① 飲酒
- ② 暴行罪
- ③ 初発非行
- ④ 犯罪に対する認識
- ⑤ 幼児期の親子関係

